



安全運転講習会

平成28年4月13日（水）

 トヨタレンタリース神奈川

1



1. 車を運転する上での基本的な心構え

①交通規則を守ること

道路は、多数の人や車が通行するところです。運転者が1人でも自分勝手に通行すると、交通が混乱したり、交通事故が起きたりします。交通規則は、みんなが道路を安全、円滑に通行するうえで守るべき共通の約束ごとで、**規則を守るとは社会人としての基本的な責務**です。

②通行する上での心構え

道路を通行するときは、決められた交通規則を守ることはもちろん、人々が**安全に通行できるように配慮することは、運転者の社会的責任**です。相手の立場にたって思いやりのある気持ちを持って通行すること、自分の利便性だけを考えず、沿道の生活している人々へ騒音などの迷惑をかけないなど配慮が大切です。

 トヨタレンタリース神奈川

2



2. 車に関する主な法律

① 道路交通法

道路交通法とは、道路における危険を防止し、**交通の安全と円滑をはかり、道路の交通に起因する障害を防止することを目的**に制定された法律。道路を使用する歩行者および車両の交通方法を定めるとともに、車の運転者や使用者の義務、運転免許、罰則などについて規定されている。

② 道路運送車両法

道路運送車両法とは、車の登録など所有権の公証を行うとともに、**安全性の確保、公害の防止および整備についての技術向上をはかる目的**で制定された法律。車の適正な使用を期するため、車の検査、登録制度および罰則規定を設けている。また、構造装置および安全性などの性能を維持するため、車の点検整備を車の使用者に義務づけている。



2-1. 道路交通法における主な注意点

① 道路交通法における主な違反項目

- 1位 スピード違反……………30.3%
- 2位 一時停止義務違反……………21.1%
- 3位 信号無視……………7.9%
- 3位 携帯電話使用……………7.9%
- 5位 シートベルト……………6.6%
- 6位 駐車違反……………5.3%
- 8位 免許不携帯……………1.3%
- 9位 酒気帯び……………1.3%



2-1. 道路交通法における主な注意点

- ①法定速度を守って走行
- ②「止まれ」は必ず一旦停止
- ③黄色信号は停止の合図、ゆとりをもって停止しよう
- ④携帯電話は車を安全な場所に停止してから
- ⑤出発前に必ずシートベルト装着確認
- ⑥少しの時間でも駐車の際は必ず駐車場へ
- ⑦運転前には必ず免許の確認
- ⑧酒気帯の状態では運転しない、翌朝にお酒を残さない



2-2. 道路運送車両法における主な注意点

①車検・法定点検の実施

	ナンバー区分	車検サイクル	法定点検サイクル
普通乗用車 プリウス・アクア	5ナンバー 3ナンバー	初回3年 以後2年毎	12ヶ月毎定期点検
小型貨物車 レジアスエースバン	4ナンバー	初回2年 以後1年毎	6ヶ月毎定期点検
軽乗用車 軽貨物車	5ナンバー 4ナンバー	初回3年以後2年 初回2年以後2年	12ヶ月毎定期点検

②適切な時期に日常点検の実施


日常点検整備

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、自動車を点検しなければならない。（道路運送車両法第47条の2より）

2-2. 日常点検とは


点検箇所	点検内容
ブレーキ	ブレーキペダルの踏みしろが適当で、ブレーキの効きが十分であること。
	ブレーキの液量が適当であること。
	駐車ブレーキレバーの引きしろが適当であること。
タイヤ	タイヤの空気圧が適当であること。
	亀裂及び損傷がないこと。
	異常な磨耗がないこと。
バッテリー	溝の深さが十分であること。
	液量が適当であること。
	冷却水の量が適当であること。
原動機（エンジン）	エンジンオイルの量が適当であること。
	原動機のかかり具合が不良でなく、且つ、異音がないこと。
	低速及び加速の状態が適当であること。
灯火装置及び方向指示器	点灯又は点滅具合が不良でなく、且つ、汚れ及び損傷がないこと。
ウィンドウウォッシャー及びワイパー	ウィンドウウォッシャーの液量が適当であり、且つ、噴射状態が不良でないこと。
	ワイパーの払拭状態が不良でないこと。
運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。

7

 トヨタレンタリース神奈川

交通事故で生じる責任と損失

8

 トヨタレンタリース神奈川



3. 加害者が被害者に負う責任

加害者の負う4つの責任

民事上の責任

刑事上の責任

行政上の責任

道義的責任

損害賠償金

罰金刑
禁固刑
懲役刑

免許取消・停止

お見舞い
誠意ある対応

自動車保険で対応可能なのは「民事上の責任」のみ



4. 事故による経済的損失

- ・事故によって発生する損失は、幅広く、想像以上に大きいものです
- ・経済的損失だけでも、損害賠償金のみならず、事故処理のための諸経費や営業損害などが発生します。
- ・事故の処理に要する業務時間や精神的な負担は甚大です。
- ・相手方の苦痛のみならず、自身の側にも様々な負担が生じます。

自動車事故で想定される経済的損失

相手方

- ・治療費・休業損害
- ・慰謝料・交通費
- ・修理代金・代車費用等

自身

- ・治療関係費用
- ・交通費・修理代金
- ・代車費用等

時間ロス

- ・事故現場処理、対応
- ・警察への連絡・対応
- ・病院同行・お見舞い等



5. 目に見えない損害～企業ブランドの低下～

「目に見えない損害」は事故対応に要したコストだけでない！

事故が続くと・・・

お客様からの信用の低下！
お客様離れが進行！！
最近では、インターネット・SNSなど
への書き込みや口コミなどを通じた
風評リスク



事故防止への取組み



6. 事故防止に向けた取組み

ハインリッヒの法則

1件の大きな事故・災害の裏には、29件の軽微な事故・災害、そして300件のヒヤリ・ハット（事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットとした事例）があるとされています。



ヒヤリハットの頻度を減らせば事故を減らすことができる！



6. 事故防止に向けた取組み

安全運転を確保する2つの能力

危険予知能力



レベルアップ可能

あらかじめ危険な状態を予測し、ヒヤリハットに陥らないための能力

危険回避能力



レベルアップは困難

ヒヤリハットに陥ったときに、事故にまで発展するのを防ぐ能力

安全運転の大前提

正しい交通ルールを認識し、
正しい交通ルールを実践すること！



6. 事故防止に向けた取組み

一般車両の事故の原因

1. **駐車・停車中の車両への衝突** 27.4%
(例)信号のある交差点手前
2. **出会い頭衝突** 27.0%
(例)信号のない交差点での直進・右左折
3. **右折時衝突** 9.1%
(例)信号のある交差点
4. **路上での人との接触** 8.8%
(例)狭い道路
5. **左折時衝突** 5.0%
(例)信号のある交差点

5つの形態で
77.3%を占める



6. 事故防止に向けた取組み

危険予知を考える

確認1. 信号のある交差点付近でのポイント

(1). 前方・左右の十分な確認！

黄・赤信号時：あわてて直進・右折・進路変更する車に注意
青信号発進時：左右を無理に渡ろうとする車・歩行者に注意

(2). つられ発進に注意！

左右のバイク・車が進行しているのを見て「信号が青に変わった」と勘違いし、赤信号で発進⇒追突！

急ぎ・焦りは禁物！
余裕をもってふんわり発進！



6. 事故防止に向けた取組み

危険予知を考える

確認2. 見通しの悪い交差点での一時停止ポイント

(1) 正しい一時停止の定義は？

①停止線の直前で、②車両のタイヤの回転が完全に止まること

(2) 一時停止後は？

徐行発進しつつ、左右の安全確認が必要

(3) 皆さんの一時停止の実態は？

一般的には「不完全な一時停止」が圧倒的に多い

**車・自転車・歩行者が通ることを念頭に
見通しの悪い交差点では手前でしっかり一旦停止**



6. 事故防止に向けた取組み

危険予知を考える

確認3. 信号のある交差点での右折時・左折時ポイント

(1) 正しい合図とは？

右左折するときは、その行為をしようとする地点（交差点手前の側端）から30メートル手前で合図

(2) 右左折の際に見るべきポイントは？

右折：①信号、②前方直進車、③対向車、④右前方の歩行者・車両、⑤右後方の歩行者・車両、⑥歩行者信号、⑦曲がった先の状況

左折：①信号、②歩行者信号、③前方直進車、④左前方の歩行者・自転車、⑤左後方の歩行者・自転車、⑥左側方のバイクの巻き込み、⑦曲がった先の状況等

**多くのドライバーは見るべき対象を「省略」
常に車・自転車・歩行者を意識すること！**



6. 事故防止に向けた取組み

危険予知のまとめ

3つの確認のポイントは一例です

- (1) 「〇〇だろう」運転ではなく、
- (2) 常に「××かもしれない」運転(予知)で、
- (3) 正しい交通ルールを理解し、
- (4) しっかりと実践しましょう！



事故防止「エコドライブ」



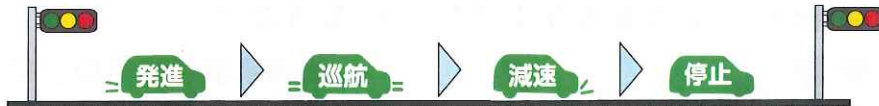
7. エコドライブへの取組み

- ① ふんわりアクセルスタート
- ② 車間距離にゆとりをもって、加速減速の少ない運転
- ③ 減速時は早めにアクセルを離そう
- ④ エアコンの使用は適切に
- ⑤ ムダなアイドリングはやめよう
- ⑥ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑦ タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑧ 不要な荷物はおろそう
- ⑨ 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- ⑩ 自分の燃費を把握しよう



7. エコドライブへの取組み

発進と停止(減速)



質問

■ 下の図で燃料を使わない順に教えてください



答え

③ ⇒ ② ⇒ ①

7. エコドライブへの取組み

燃料をかなり使う 燃料をほとんど使わない

- ・発進→どんなに軽い車でも、車重は最低1トン!
- ・減速→フューエルカットが大きく影響

① 発進・加速 ② 巡航 ③ 減速・停止

「ゆっくり発進・ゆっくり停止」

トヨタレンタリース神奈川

23

7. エコドライブへの取組み

エコドライブのもう一つの効果

① 運転中、交通事故がよく起きる場所は？

交通事故の半分以上が
交差点(付近)

交差点および交差点付近
56.9

② 信号が赤になると？青になると？

**「ゆっくり発進
ゆっくり停止」**

トヨタレンタリース神奈川

24

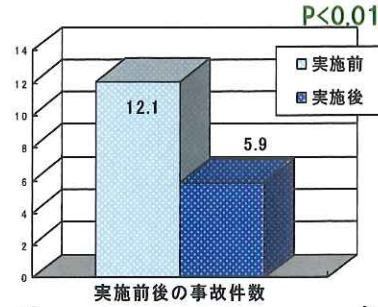
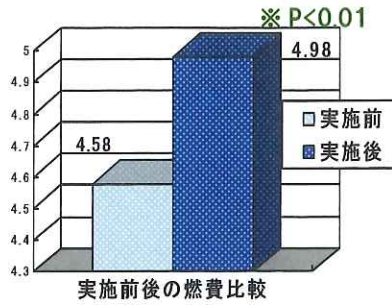


7. エコドライブへの取組み

『エコドライブ活動による燃費向上と交通事故低減の効果』

燃費 8.7%改善

交通事故 49%に低減



※Wilcoxon順位和検定
 (正規分布を示さないデータにも
 対応できる有意差検定)

2006年5月25日自動車技術会春季学術講演会に
 おいて発表
 研究者:株式会社アスア 間地寛
 芝浦工業大学 春日伸予教授
 早稲田大学理工学部 大聖康弘教授

エコドライブ実践で事故防止につなげましょう!

トヨタレンタリース神奈川

20